

平成 28 年度 (2016 年)

日本声楽発声学会

## 第 104 回例会

平成 28 年 11 月 27 日 (日)  
9 時 55 分 ~ 16 時 20 分 (受付 9 時 30 分より)

東京藝術大学音楽学部  
大講義室 (5-109)・第 2 ホール  
(JR 上野駅公園口より徒歩 10 分)

## 日本声楽発声学会 第104回例会

錦秋の候、皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。今回2016年度の11月例会では、会員からバラエティに富んだ研究発表を申し出ていただきました。また本学会の主旨に沿った学術的観点からのご講義、現役の演奏家からはオペラ曲を中心にその醍醐味をお聴かせさせていただきます。ますます充実した研究の場となりますようお願いしております。多くのご参加をお待ちしております。

会長 永井和子

### プログラム

総司会 鈴木慎一郎

開会挨拶 9:55~10:00

会長 永井和子

A 研究発表 10:00~12:00 (大講義室 5-109)

司会 齊藤 祐

① 10:00~10:30

水越美和 (お茶の水女子大学講師、声楽家)

「マヌエル・ガルシア (1805-1906) の声楽教師としての活動にみる、  
ガルシア家の継承」

② 10:35~11:05

(共同研究)

豊田喜代美 (沖縄県立芸術大学教授・声楽家・博士 (知識科学))

工藤 和俊 (東京大学大学院情報学環・学際情報学府准教授、身体運動科学研究)

「歌唱と姿勢の関係 -身体運動科学の視点から」

③ 11:10~11:40

(共同研究)

田村邦光 (工学博士、音楽に寄す会主宰、久喜市歌声教室講師)

河合孝夫 (河合孝夫音楽研究所所長)

「声楽発声への音声分析の応用事例

-音の高さ・倍音・フォルマント分析等による歌声の評価の試み-

※ 11:45~12:00 質疑応答

## — 昼 食 —

昼食は、藝大美術学部レストラン「大浦」をご利用ください。  
尚、申込みにつきましては5ページをご覧ください。

B 特別講演 13:00 ~ 15:00 (大講義室 5-109)

司会 竹田数章

講 師： 三枝英人氏 (さえぐさ ひでと)

講義テーマ：直立姿勢と発声、歌唱

### 講演概要：

私たちは、子供の頃から親や大人から事あるごとに直立姿勢を強調され、加えて直立姿勢での発声を指導されてきた。年老いて背腰が彎曲するに至り、ようやく「あー、若い時にもっと姿勢を良くしておけばよかったあ」と嘆くのであるが、嘆くその声はもう力が無いものである。幼稚園や小学校の音楽発表会を聴いていると、全員が直立に綺麗に一直線に並んでということは難しい。歌の方は、客観的な耳からすればとても聴けたものではない。小学校中学年になると、横一線にようやく並んで、硬く直立を守りながらであるが、ようやくメロディーらしくなってくる。全員で拍子を合わせるように体を左右に曲げたりなども良く見る光景である。小学校高学年になると、直立姿勢に余裕がみられるようになり、「さすが6年生ねえ」という合唱になってくる。このように直立姿勢と発声は関係を有していることが理解されるが、一方でそれが歌唱という段階に至るにはただ立ち上がるだけではなく、かなりの年月、もしくは鍛錬が必要になるということも窺い知ることが出来る。ヒトが樹上生活から地上へ降り、視野拡大を得るために立ち上がり、その時、初めて感嘆の声を発したと言われているが、その時点から音声言語を発するに足る私たちの身体に至るには 700-800 万年の歳月を要している。直立姿勢と発声、そこから歌唱に至る生命形態学的背景につき考察したい。

### 《プロフィール》 三枝英人氏

平成4年日本医科大学卒業、同年日本医科大学耳鼻咽喉科入局、平成12年伊勢崎市民病院耳鼻咽喉科医長、16年日本医科大学耳鼻咽喉科講師を経て、平成21年には東京藝術大学非常勤講師、平成24年東京女子医科大学八千代医療センター耳鼻咽喉科小児科科長・講師。

副職として、平成12年東京大学医学部大学院音声言語医学教室 非常勤講師、平成14年お茶の水女子大学音楽科 非常勤講師、平成20年松本歯科大学口腔解剖学第一講座 非常勤講師を務める。賞としては、平成10年日本内視鏡振興財団研究助成、平成13年日本気管食道科学会(食道部門)・奨励賞、平成16年日本気管食道科学会(気道部門)・奨励賞、平成18年博慈会老人病研究所研究助成優秀論文賞、平成24年：日本音声言語医学会研究助成、の多数を受賞。

C 現役声楽家の演奏のお話し 15:20~16:20 (第2ホール)

司会 豊田喜代美

講師: 小濱妙美氏 (こはまたえみ) ソプラノ

曲目:

- ① 《ノルマ》 「清らかな女神よ」 V. ベッリーニ  
*Norma* “Casta Diva” V. Bellini
- ② 《蝶々夫人》 「ある晴れた日に」 G. プッチーニ  
*Madama Butterfly* “Un bel di, vedremo” G. Puccini
- ③ 《トスカ》 「歌に生き愛に生き」 G. プッチーニ  
*Tosca* “Vissi d’ arte, vissi d’ amore” G. Puccini
- ④ 《ローエングリン》 「エルザの夢」 R. ヴァーグナー  
*Lohengrin* “Elsas Traum” R. Wagner
- ⑤ 《エウゲニ・オネーギン》 「タチヤーナの手紙の場面」 P. チャイコフスキー  
*Eugene Onegin* “Tatiana’s Letter Scene” P. Tchaikovsky
- ⑥ 「この道」 山田耕筰
- ⑦ 「初恋」 越谷達之助

ピアノ: 椎野伸一氏 (しいのしんいち)

<プログラミングの意味するところ>

「私の大好きな5名のヒロイン」

早いもので、メゾからソプラノに転向してから 30 年が経とうとしています。本日は、ベルカントオペラ最高峰ベッリーニ「ノルマ」でスタートさせていただきます。「ノルマ」「蝶々夫人」「トスカ」この 3 つのオペラのタイトルロールは、いずれも愛してやまない恋人の為に自ら命を絶つものです。信心深く、凜とした堂々たる立ち居振舞いに私は共感します。魂を込め歌いたいと思います。また、ドイツ人が理想とする女性像=エルザとロシア人が理想とする女性像=タチヤーナこの 2 人の女性の内面を繊細に表現したいと思います。そして、最後には、自分の今までを振り返りながら、またいつもこころに初々しさを忘れないよう、祈りながら「この道」「初恋」を歌わせていただきます。歌える喜びに感謝しつつ...

## <プロフィール>

### 小濱妙美氏

東京藝術大学卒業、同大学院修了。畑中良輔、エリーザベト・シュヴァルツコプフ、アントニオ・トニーニ各氏に師事。93年ドイツのブラウンシュヴァイク劇場「タンホイザー」エリーザベト役でヨーロッパオペラデビュー、“劇場始まって以来の大物歌手誕生”と大絶賛され、「ノルマ」「コシ・ファン・トゥッテ」「ナクソス島のアリアドネ」「オテロ」等出演。日本では90年藤原歌劇団「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナでデビュー、「ノルマ」では急遽代役を務め(3日間で!)『新しいDIVA誕生』と世界に発信された。「蝶々夫人」「カルメン」「トスカ」「椿姫」等出演。びわ湖ホール・オペラ「ジャンヌ・ダルク」でも急の代役で大絶賛、「エルナーニ」「シチリアの夕べの祈り」等出演。新国立劇場柿落とし「ローエングリン」「トスカ」「エウゲニ・オネーギン」「蝶々夫人」「修禅寺物語」等出演。06年ニューヨークカーネギーホールリサイタルでは会場総立ち大喝采を浴びた。パヴァロッティ・チャイコフスキーコンクール、ジローオペラ賞など多数受賞。NHKニューイヤー、題名のない音楽会等テレビやFMラジオでも活躍。日本音楽コンクール等審査員。藤原歌劇団。京都市立芸術大学教授。

### 椎野伸一氏

東京藝術大学、同大学院修了。「安宅賞」受賞。谷康子、V.セルヴァンスキーに師事。デビューリサイタル後、東京交響楽団、シティ・フィル等とベートーヴェンの「ピアノ協奏曲第1、3、4、5番」等を協演。1996年「グラン・デュオ」結成、紀尾井ホールで定期的にソロ及びデュオリサイタルを開催。室内楽奏者として内外の著名な演奏家とキャリアを積む。CD録音、音楽祭への参加、放送等活動は多岐。東京学芸大学教授。

## 閉会の挨拶

副会長・事務局長 川上勝功

## ◎ 参加費

- ・正会員は不要です。  
(年会費未納の方は至急、下記振込先に納入をお願いいたします。)
- ・臨時会員 6,000 円 (大学院生 6,000 円、大学生以下 4,000 円) \*学生の方は、当日学生証の掲示をお願いいたします。

## ◎ 参加申込について

- ・正会員は不要です (昼食については下記の要領にてお申し込みください)
- 臨時会員として参加される方は、参加費を下記の郵便振替口座に 11月16日(水) までに納入してください。通信欄に、「11月例会参加費」と明記し、所属、紹介者、住所、氏名、連絡先を明記してください。当日の参加受付も可能ですができるだけ事前の申し込みをお願いいたします。当日受付で入金を確認させていただくことがありますので、振込受領書、または振込明細をご持参ください。  
(昼食弁当は、事前申込のみとなります。) なお期日を過ぎた場合は入金確認ができませんので当日申込・受付払いをお願いいたします。

振込先 郵便振替口座 00170-0-119920 加入者名：日本声楽発声学会

## ◎ 会員の方の昼食の事前申込について

- ・11月16日(水) までに事務局へ FAX、E-mail、ハガキのいずれかでお申し込みください (電話での申込はご遠慮ください)。昼食は事前申込のみとなります。昼食は東京藝術大学美術部学部内レストラン『大浦食堂』にて、お弁当 (お茶ペットボトル付) 1000 円です。当日、受付でお支払いいただき、引換券をお渡しします。

## ◎ 連絡先

日本声楽発声学会事務局 (担当：山下)  
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-2-11 フィガロ 302  
Tel & Fax : 03-6804-7047 E-mail : jars.office@gmail.com

(ご案内) 臨床音声学研究会東京  
2016年11月26日(土) 午後5時から午後7時。場所は東京渋谷東急本店裏呼吸と発声研究所です。 (<http://www.att-yoneyama.com>)  
声楽発声学会会員で医師関係の人が中心に行っている研究会ですが、どなたでも参加はご自由です。参加費は1000円です。  
参加希望者 11月22日までに竹田までお願いします。 (FAX 03-5313-3281)

